

令和4年11月10日

# 南の風 For Junior 104

南部地区ミニバスケットボール連盟

会長 藤原 敬一

今回は101号で質問してくれた中学生の再度の質問に答えたいと思います。

質問の内容です。「先日はありがとうございました。スリーユニットの速攻からボール運びを今やっています。試合で使えるか分かりませんが、続けて練習したいと思います。もう一つ教えてほしいのですが、来年のために1年生の選手にも、相手のプレスに対してボール運びを練習してほしいと思うのですが、フィギアエイトの形が一番いいでしょうか。何かあれば教えてください」ということでした。

私の考えです。《ショートパスをつないだ運びからの攻めがテーマ》

For Junior101にも書きましたが、PG（ポイントガード）に人材がいるのであれば、スリーユニット《運び・つなぎ・ランナー（リムランナー・レトラー）》でボール運びをするをお奨めします。リバウンドを取ったら、PGが素早くボールミートしてつなぐやり方です。詳しくは101を参照してください。今回は経験の浅い1年生ですから、全員が経験を積むために5人で運び形を紹介します。

フィギアエイトの初期系（原田 茂先生考案の形）を簡素化したものです。**3パターン**あります。

図に描きながら進めてもらうと分かり易いです。コートの上から左へと攻める設定です。相手に得点されエンドラインからパス出して始めます。5番がパス出し、4番が左のショートコーナー、3番が右のショートコーナー、2番が左のエルボー、1番が右エルボーとします。合図で、1番～4番はオープンに広がります。1番、2番はオープンしてボールを見ます。このままランナーとして走り速攻パターンになる展開もありますが、ここではプレス運びがテーマですから、オープンダッシュしてセンターライン辺りで様子を見ます。

一つ目の運び方です。5番はオープンしてミートしてきた3番にパスを出します。3番はまず縦を見ます。1番にパスを出します。**＜パラレル・タンデム（縦）＞**1番はパスを受け（逆サイドを走る2番がノーマークならロングパスですが、ここでは逆サイドからミートしてきた4番にパスします。4番はパスを受け、逆サイドの2番にパスです。このようにパスがきた方の逆サイド、逆サイドにパスを振ることによってDEFを分散させます。2番はパスランでカットしてきた4番にパスフェイクして、トレーラーとして後から走り込んだ5番にパスして、5番がシュートします。ショートパスを使いながら逆サイドへ逆サイドへボールを回し、プレスを回避しながら運びます。

二つ目です。5番が3番にパスします。この時1番にパスが入らなかったとします。その時は走り込んでミートしてきた4番に直接パスします。**＜パラレル・タンデム（真ん中）＞**4番は逆サイドの2番にパスです。2番はパスランで走り込んだ4番にパスフェイクして、5番がシュートです。

三つ目です。プレスがきつい場合です。5番が3番にパスします。縦（1番）にも真ん中（4番）にもパスできなかったとします。その時は5番にパスを戻します。5番は1（アイ）カットしてきた2番にパスしてつなぎます。これに合わせて1番がミドルレーンにフラッシュしてパスを受けます。

**＜ボールバック・フラッシュ＞**1番は素早くターンして、走り込んできた右レーンの3番か、逆サイドの4番（真ん中に合わせた選手）にパスしてシュートさせます。解説は次号にします。